

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2005-346128 (P2005-346128A)

【公開日】平成 17 年 12 月 15 日 (2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2005-049

【出願番号】特願 2004-161467 (P2004-161467)

【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 2 D 15/10 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 B 5/02 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 17/00 F

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 2 D 15/10 5 2 1

G 0 6 F 3/12 W

H 0 4 B 5/02

G 0 6 K 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体に付された R F - I D タグと通信し、該 R F - I D タグへの電子情報の書き込みを行う記録装置であって、

前記電子情報が書き込まれる前記 R F - I D タグの情報保持部ごとに、該電子情報を書き込むための通信規格を識別する識別手段と、

前記識別手段が識別した通信規格に切り替えて、前記電子情報の書き込みを行う書き込み手段と

を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記通信規格は、通信手順であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記識別手段は、

前記 R F - I D タグの情報保持部ごとに複数の通信手順を用いて通信を行い、通信可否を判定することにより、該情報保持部に前記電子情報を書き込むための通信手順を識別することを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記通信規格は、周波数帯であることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記識別手段は、

前記 R F - I D タグの情報保持部ごとに複数の周波数帯で通信を行い、通信可否を判定することにより、該情報保持部に前記電子情報を書き込むための周波数帯を識別すること
を特徴とする請求項 4 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記書き込み手段は、R F - I D リーダ／ライターであることを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 7】

記録媒体に付された R F - I D タグと通信し、該 R F - I D タグへの電子情報の書き込みを行う記録方法であって、

前記電子情報が書き込まれる前記 R F - I D タグの情報保持部ごとに、該電子情報を書き込むための通信規格を識別する識別工程と、

前記識別工程が識別した通信規格に切り替えて、前記電子情報の書き込みを行う書き込み工程と

を備えることを特徴とする記録方法。

【請求項 8】

R F - I D リーダ／ライターとの通信が可能な R F - I D タグを備える記録媒体であって、

前記 R F - I D タグは前記 R F - I D リーダ／ライターとの通信により、電子情報が書き込まれる情報保持部を備え、該情報保持部ごとに、該電子情報が書き込まれる際の通信規格が異なっていることを特徴とする記録媒体。

【請求項 9】

前記 R F - I D タグが複数のアンテナを備えていることを特徴とする請求項 8 に記載の記録媒体。